





## MAP

### ① 鳥屋森山(馬子山)

南境鳥屋森山地内

太平洋に面した海拔の低い広大な石巻平野を一望できる場所は川沿いの限られた高台しかありません。北上川改修工事に取り組んだ川村孫兵衛重吉は北上川(現旧北上川)の流路を定めるのに周辺の山々を見た地形を見たとの伝承があります。孫兵衛による北上川と江合川・迫川の三川合流と鹿又以南の流路整備では「筑岳山」「庚山(和利山)」「神取山」「上品山」「愛宕山」「鳥屋森山」「日和山」「牧山」などが物見山として流路調査に利用されたことでしょう。なかでも鳥屋森山(ヤケモリ山、海拔173.6m)は蛇行して海に注ぐ河の石巻市街地をはじめ360度の展望がさく一番眺めの良い山です。「馬子山」は山容が馬の背中を思わせること、戦前から戦後も地域農家が農耕馬の飼料となる馬草の草刈り山として利用され、親しみを込めて「馬子山・うまこやま」と呼ばれています。

※物見山:敵情を偵察観測するための高台や山などを意味する

### ② 川村孫兵衛紀功碑と住吉公園(大島神社)

住吉町1丁目3番1号

川村孫兵衛重吉の没後から250年を経た明治30年(1897)7月、平塚茂ら石巻町民有志によって川村孫兵衛重吉が石巻に残した偉大な功績を後世に顕彰するために、旧北上川沿いの大島神社境内(現住吉公園)に縄井石の「紀功碑」(高さ約4m、幅1.4m)が建立されました。題字は伯爵伊達宗基(伊達家第14代当主)、撰文は初代仙台区長(市長)の松倉愈(旧仙台藩士)、書は佐々木舜永(黄金山神社社司)、石工は石井貞輔です。紀功碑建立から約20年後、大正4年(1915)11月10日、大正天皇即位式にあたり特に故川村孫兵衛重吉に対して「正五位」が贈位され、3百年前の河川改修の偉業が評価されました。その後の同7年に贈位を記念して冊子「北上川開鑿家 贈正五位川村孫兵衛小傳」が刊行されました。



### ③ 縄張稻荷神社(縄張稻荷大明神)

千石町3番地内

川村孫兵衛重吉による石巻開港に向けた北上川改修工事では流路と宿場町の配置など港町石巻などの整備計画の調査と工事のため多くの測量用の「縄繩・けんなり」が使用されたと思われます。「牡鹿郡誌」が元和9年(1623)の創建とする神社は戸江戸時代は「縄張稻荷大明神」と呼ばれ、「倉稻魂命・うかのみたまのみこと」を祭神として旧横町の西方、後の旧新田町に建っています。「縄張」は城郭造りの築城用語ですが、石巻湊の建設は城造りに匹敵する大事業でした。創建は河川改修による石巻開港や石巻宿の開町以前であり、縄繩を奉納することでこれから始まる河川と港町づくりの工事安全を祈願して創建されたとも考えられます。昭和41年、縄張稻荷神社の旧新田町は千石町と町名を改めました。川村孫兵衛への報恩感謝に由来する石巻川開きまつりは内務省の贈位後の大正5年(1916)を第一回として始まり、石巻の歴史を伝える川開き行事には欠かせない神社となっています。



### ④ 川村孫兵衛重吉銅像と石巻日和山

日和が丘2丁目1番地内

石巻湊は江戸時代初めの寛永3年(1625)、仙台藩主伊達宗宗の命による川村孫兵衛重吉の北上川改修工事によって北上川(旧北上川)の河口に開港します。河口の右岸にあって千石船の監視と出港にあたり船頭らが海上の日和、天候を占った山が江戸時代の港町に多く見られる「日和山」です。古くは鎌倉から安土桃山時代まで葛西氏の石巻城跡とされます。太平洋を一望する石巻の「日和山」(海拔61.3m)は開港以来、松尾芭蕉をはじめ多くの文人墨客が訪れ、今日も春はサクラとツツジで知られる石巻を代表する観光名所です。日和山公園の東端には昭和58年(1983)8月、石巻開港の恩人とされる川村孫兵衛銅像が市制施行50周年を記念して旧北上川に面して建立され北上川流域と石巻の盛衰を見守り続けています。



### ⑤ 門脇釜地区と川村家墓碑

新館2丁目6番地内

仙台藩に仕官した川村孫兵衛重吉と一緒に居住した地域が石巻市門脇の釜地区(現在の新館・中屋敷・浦屋敷など)です。釜地区は西方を流れる定川河口の左岸に位置し、かつては右岸の大曲村(東松島市大曲)の地でしたが、川村孫兵衛の移住後に門脇村に編入されて「釜大曲」と呼ばれ、釜の地名は定川河口两岸で行われた製塩業に伴う塩を煮詰める「塩釜」に因ります。慶安元年(1648)に74歳で没した後、川村家墓地は新館屋敷の鬼門の方角に設けられて妻子をはじめ14代までの墓碑があります。菩提寺の真言宗「大鉤山龍觀院普賢寺」は屋敷跡の東側の釜大曲(石巻市中浦)にあり、第2代藩主伊達宗基が川村宅を訪ねた事を機に、死後は自宅を菩提寺とする遺言に応えた第2代川村孫兵衛元吉が承応2年(1653)に開基、寿福寺の有弁和尚によって開山されています。墓碑は釜在住の川村氏直系第10代弟の川村家子孫が墓守を務めています。



### ★ 水辺の復興・みらい館

中瀬2番地内

2014年7月に石ノ森萬画館の隣に「旧北上川かわまちづくり情報館」としてオープン。その後2016年の3月に展示を大幅にリニューアルし、北上川の歴史や川村孫兵衛についてマンガを使用して紹介するパネルを展示しています。その他にも震災時の状況や、旧北上川に関する復旧・復興工事の状況等がわかるパネルやバーチャルリアリティーを用いて今後の旧北上川の堤防の様子などを紹介しています。

◆開館時間 9:30~16:00  
◆休館日 毎週火曜日

